



PROTECT OUR WINTERS.JP

活動報告

2020年1月～3月期

ミッションとビジョン

ミッション

スノーコミュニティの情熱を、
気候変動問題を解決するムーブメントに変える

2022年に向けてのビジョン

1.

アウトドアコミュニティにおいて広くPOWの存在と活動内容が知れ渡り、その多くが気候変動の問題解決に取り組んでいる、あるいは取り組む意思がある。（＊数字指標参照）

2.

HAKUBA VALLEY(全体もしくは一部)で脱炭素型のスノーリゾートとしての先進的な取り組みが行われている。

3.

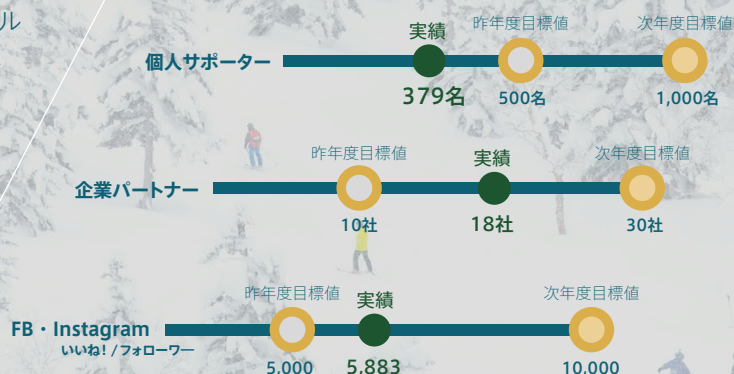
白馬村が自然と共生する自治体として、カーボンニュートラル、自然エネルギー100%を宣言している。もしくは、その実現に向かっている。

4.

白馬エリアで描いているビジョンが他エリアのスノーリゾートや自治体にも影響を与え、同様の取り組みが波及している。

数字指標

2020年3月末時点



プロジェクト

1.

Snow Activism フィルム上映 & トークイベント

パタゴニア × POW JAPAN

来場者数 450名

POW
PROTECTOURWINTERS.JP

2月3～4日に東京と白馬で開催したパタゴニア主催の当イベントでは、POW JAPANの小松吾郎を含む日本、アメリカ、スコットランドで気候変動の問題に取り組む各地の滑り手をフィーチャーしたドキュメンタリーフィルムを上映。

その後『Fall Line』編集長の寺倉力氏のナビゲートのもと、小松吾郎とアンバサダーの玉井太朗のトークセッションを行いました。

両会場合わせて約450名の方にご来場いただき、スノーボーダーとして環境問題に取り組むスピーカー2人の言葉に真剣に耳を傾けている姿が印象的でした。

両会場ともにたくさんの方に Hakuba Valley 署名アクションにご協力いただき、また POW JAPAN へのラッフルドネーションでは294,400円をご寄付いただきました。

本イベントのレポートをアウトドアサイト『Akimama』に掲載いただきましたので、[こちら](#)も是非ご覧ください。

2.

Hakuba Valley 署名アクション

署名数14,230人!

雪を資源にビジネスをするスキー場が率先して気候変動対策に取り組み、冬を守る。そんな未来を実現するために、HAKUBA VALLEYが自然エネルギー 100%で運営されることを応援する署名収集を実施、たくさんの滑り手のみなさまにご協力いただきました。本当にありがとうございます!

**私は気候変動対策に取り組む
スノーリゾート、企業、活動を
応援します。**

We support all snow resorts, companies
and actions fight for climate change.

* この署名はHAKUBA VALLEY(長野県)が自然エネルギー
100%で運営されることを応援するメッセージとして提出されます。
* This is only used as a petition to support Hakuba Valley in
Nagano to be operated by 100% green energy near future.

都道府県 HOMETOWN/COUNTRY

お名前 NAME

メッセージ MESSAGE

2019-20シーズンから白馬八方スキー場や白馬岩岳スキー場では、リフトの運行などに自然エネルギーの使用が部分的にはじまりました。今回の署名と応援メッセージ(次のページをご覧ください)によって、HAKUBA VALLEY全体で気候変動対策に取り組む機運が高まっていそうです。

HAKUBA VALLEY TOURISMへの提出の様子や、今後の動きについても続報をお待ちください!

署名とともに全国から集まった応援メッセージ

メッセージ MESSAGE

HAKUBA VALLEYが最初に変えること。
来季のための新しいきっかけを。
他のエリアも続きSNOW業界全体で
大きなアップデートに参っていくことを願っています。

メッセージ MESSAGE

雪のある世界を未来の世代に！
HAKUBA VALLEYでの取り組みが
日本中に、そして世界に広がっていく事を
心から願ひ、応援しています。

メッセージ MESSAGE

気候変動に対して一刻も早く行動を起こさなければならぬ。白馬スキー場が自然エネルギーに代替する行動は雪を愛する人達にとっても必要になるはず。応援しています。

メッセージ MESSAGE

僕達が愛する白馬を
次の世代へ残してください。

メッセージ MESSAGE

白馬が発信する行動の
メッセージが、日本中の人の
心に届くことを願っています!!
私も小さなコツコツを積み重ねていこう

メッセージ MESSAGE

I WOULD LIKE SKI IN RESORT
WHAT IS RESPECT FULL TO NATURE
LIKE GREEN ENERGY OR LESS CO2 CONSUMPTION. THANK YOU!

メッセージ MESSAGE

この先もずっと、何年にも、滑り続けたいという強い願いを抱いて、持続可能なスキー場の活動を応援します。
白馬、小谷、大町、成沢、他のスキー場もこれに続くことを願っています。

メッセージ MESSAGE

白馬から伝えよう
白馬から変えよう
地球温暖化。

メッセージ MESSAGE

二酸化炭素を減らす!!
ガスは減らす!!

メッセージ MESSAGE

日本に自然エネルギー100%の
スキーリゾートが、できるなんて
最高にかっこいい!!

メッセージ MESSAGE

I am excited for a
100% renewable future. As
a skier, I want to share the
sport with future generations.

メッセージ MESSAGE

スキー場から冬を学ぶ活動をお願いします。

メッセージ MESSAGE

世界に知れたカッコイイ
リゾートになって欲しい!!

メッセージ MESSAGE

HAKUBA VALLEYを
世界的に有名な自然エネルギー
100%のリゾートに

メッセージ MESSAGE

気候変動により、雪がなくなるのはすごく悲しい。
大きな雪国である白馬、燃料を使い
リフトを動かすのは、やはり矛盾している。
自然エネルギーでリフトを動かすのは、ぴったり合う。
大好きな白馬が、世界に発信するのを
全力で応援します。

メッセージ MESSAGE

白馬が自然、100%の自然体で
いる日本の型、ぜひ残ることを
、より新願しております。

メッセージ MESSAGE

私は、スキーが大好きです。今年は、
雪が少なくて寒い、不安です。
安心してスキーがしたいです。

メッセージ MESSAGE

Please be a role model
for the leisure industry and
go green!

メッセージ MESSAGE

白馬を日本に、世界に、
積極的にアクションを起こすことに
定めます! Respect!

メッセージ MESSAGE

Let's protect our earth
together! 保護地球!

3.

ショップからはじめよう

全国の67のショップが参加

● POWと共に、冬を守る滑り手のムーブメントを広げることを目的とした「ショップからはじめよう」プログラム。全国各地の多種多様な67のショップ様にご協力いただき、POWのブローシャーやステッカーの設置・販売をきっかけにPOWや気候危機について発信いただきました。いくつかのショップさまからのお声をご紹介します！



マウンテンロッジ ウィズ (宿／長野県・大町市)

当初は押し付けがましくならないようにと、以前から温暖化や小雪、POWの活動について話す友人やコアなお客さまに無料で渡していました。しかし、スキー場でロッジを営んでいることもあり、思い切った夕食の際に少しお時間をいただきPOWを紹介したところ、多くのお客さまが共感してくださり、ブローシャーを手に取りステッカーを購入してくれています。食後は個別に自然エネルギーの話や二酸化炭素排出量の削減、脱炭素化、3Rの話などコミュニケーションの幅も広がり、やはりみなさん雪を愛し憂いを覚えているんだなと改めて気が付かされました。



NUPLI (スノーボードショップ／京都府)

気候変動について自分たちにできることから何か協力したいと思いました。今年は特に雪不足を目の当たりにし、今まで以上に気候変動について考える年となりました。それは、スノーボードを販売し、滑り手としても活動している私たちの生活も脅かされることにもつながります。また、世界の舞台で活躍したい子どもたちの育成・サポート活動もしているため、子どもたちの夢が断たれないようにするためにも、POWの活動は重要だと思っています。ブローシャーやステッカーをきっかけに、お客様といつもとは違う会話をしたり、スノーボードをしない方にも興味を持っていただき、地球環境や気候変動について話す機会がもてました。「学校で気候変動についての絵本を作ったからPOWのステッカーを欲しい」という小学生もいて嬉しかったです。



Transit 東川 (アウトドアギアショップ／北海道・東川町)

店舗は旭岳の麓に位置していて、雪と生活とが密接に関わる地域なので、常に山のコンディションは話題の中心です。単に雪が少ないことを嘆くのではなく、我々こそが少雪の冬を通じて環境変化の末を具体的に想像できるカルチャーに接しているのだと感じました。最悪に備えて賢明なライフスタイルを語り合うプラットフォームとして、雪に接している人たちが集まる場所を提供できることは、大きな喜びです。公共交通機関網が密ではない北海道で雪を楽しむ際には車が不可欠。だからこそ、車に関わる自分たちの行動を見つめ直そうという動きがあります。このプログラムをきっかけに、お店で知り合った人たちが自主的に、乗り合いによって環境負荷を下げるという、具体的な行動に発展しました。

4.

インタースタイル

発足から1年を迎えて

1年前にPOW Japanのスタート地点となった合同展示会「インタースタイル」に、今年も参加させていただきました。ブースではPOWの活動紹介に加え、シルクスクリーンプリントを実施、スノー業界の皆さまやライダーの方々など様々な方とお話することが出来ました。

2日目の午後には、この1年の活動報告とこの先のビジョンについてプレゼンテーションを行い、その後半ではアンバサダーの大池琢磨が「滑り手として感じること、滑り手一人一人が出来ること」をお話し、POWの活動をより深く知っていただく良い機会となりました。

展示会を通して、私たちの活動を知ってくれていたたり、ムーブメントに参加してくれている人が格段に増えていることを実感し、本当に頼もしく思うと同時に、POWも確実に前進していると確認出来たことも大きな成果でした。



パートナー企業の取り組み

白馬観光開発株式会社

『スノーリゾートから気候変動を考える3日間』と題して、2月2~4日は「白馬岩岳スノーフィールド」で使用するすべての電力が再生可能エネルギー100%で賄われました。

同期間中には白馬高等学校「Hakuba SDGs Lab」による『グローバル気候マーチ at 白馬岩岳スノーフィールド』やパタゴニア×POW『Snow Activism フィルム上映&トークイベント』を岩岳スノーリゾートにて開催。また、2月から「白馬八方尾根スキー場」のアルペンクワッドリフトが、CO2フリーの電力で年間を通して運行されています。

白馬観光開発株式会社の取り組みの詳細は[こちら](#)からご覧ください。

OUR PARTNERS



メディア掲載情報

- NHK『イブニング信州』(長野・新潟/1月23日放送)、『おはよう日本』(2月6日放送)
- FREERUN『THINK vol.4 スノーフィールドの未来を考える』(2020年2月号)
- グローバル気候マーチでの取材内容が新聞各社に掲載:
山陽新聞、西日本新聞、静岡新聞、中国新聞、河北新報、宮崎日日新聞
- 白馬の魅力、伝えるサイト『アンテナ白馬』(2月25日掲載)
- アウトドアカルチャーのニュースサイト『Akimama』(3月3日掲載)
- FM新潟『LIFE is WINTERWONDERLAND』(3月20日、27日放送)

出展/協力/登壇イベント

Japan Freeride Open

インタースタイル

グローバル気候マーチ in 白馬

エイブル五竜スキー場 従業員向け勉強会

Yama Jam 2020



1% FOR THE
PLANET